



発行日 2023年7月
 発行所 社会福祉法人 大阪福祉事業財団
 (障がい児入所施設) 豊里学園
 (障がい者支援施設) あさひ希望の里
 (乳児院) すみれ乳児院
 発行責任者 旭ブロック長 豊里学園 園長 山中ひろみ
 大阪市旭区太子橋1-16-24
 TEL: (06) 6951-2066 FAX: (06) 6951-2541
 豊里学園 あさひ希望の里 すみれ乳児院



豊里学園では、コーラス・太鼓・ダンス・スヌーズレン(くつろぐ時間)の療育活動があります。その中の一つ、コーラス「歌音」は、2000年に学生ボランティアの協力による音楽療法が始まりました。現在は、ボランティアの中屋菜穂子先生(元支援学校音楽教諭)から歌唱指導をして頂いています。メンバーは女子5名・男子4名、月に一度、活動を行っています。新型コロナウイルスの影響で、音楽発表会等に参加できていませんが、日々練習に励んでいます。

主に「合唱」「タンバリンダンス」の練習を行っています。音楽療育では、精神的な安定・自発性や活動性の促進・身体の運動性の向上・脳の活性化・リラクゼーションの効果があります。子どもたちは、先生からのアドバイスをよく聞き頑張っています。子どもたち同士での教え合う姿、タンバリンダンスではお互いを褒め合う姿がみられます。



地域のボランティアの方に支えられ子どもたちは「歌うの大好き！」

(豊里学園 桐川)

(あさひ希望の里 中平)

しあわせレシピ

豊里学園 調理師 渡邊



鮭の山形だしのせ丼

【材料】		【調味料】	
ご飯	4人分	塩	1g
鮭	2切れ	うすくちしょうゆ	4cc
きゅうり	1/2本	酢	15cc
みょうが	1/2個	砂糖	4g
なす	20g	納豆昆布	10g
おくら	2個	かつおパック	10g
しそ	2枚		



- 【作り方】
- ①きゅうり、なす、みょうがを粗みじん切りにする。
 - ②おくらは湯がいてから粗みじん切りにする。
 - ③刻んだ野菜をボールに入れ、塩を振りかけてざっくりと混ぜる。ひたひたになるほど水を入れて、15分置いておく。
 - ④ザルに上げて水をしっかり切って、ボールに戻す。
 - ⑤④にうすくちしょうゆ、酢、砂糖を入れて、納豆昆布と細みじん切りをしたしそを、ざっくりと混ぜ合わせる。
 - ⑥冷蔵庫で1時間冷やしてなじませたら、山形だしの完成。
 - ⑦焼いた鮭をほぐしておく。
 - ⑧どんぶりにご飯をいれて、鮭と山形だしをかけて、上からかつおをちらしたら完成。

◆山形だしてなに?◆
 山形県の郷土料理で、ナスやキュウリ、ミョウガなどの夏野菜をみじん切りにして、塩、醤油、みりん、酒などで味付けした即席の漬物です。
 この漬物を山形県では「だし」とよびます。

わが町 お店探訪

「旬彩酒肴」 ほたる

季節の食材を使ったおいしい料理と明るい雰囲気のお店で、一品料理、鍋物、各種宴会料理を出してくれるお店です。
 メニューも豊富で定食、うどん、そばもリーズナブルな価格で提供されています。
 職員の昔なじみの知り合いがのれんを出しているお店で、おいしいものが食べたいときや疲れたときなどに気の合う仲間と楽しく利用させて頂いています。



住所 大阪市旭区中宮2丁目16-11
 電話番号 06-7220-4535
 定休日 月曜日
 営業時間 11:30~14:30 (ラストオーダー14:00)
 17:00~23:00 (ラストオーダー22:30)

後援会入会のお願い

大阪福祉事業財団後援会では、施設利用者と地域の方々の生活と権利を守り、発展させていく事がますます重要になってきていると考えます。
 子どもからお年寄りまですべての人が守られる社会福祉の実現に向けてご協力・ご支援をお願い申し上げます。

- 個人会員：10 3,000円
- 団体会員：10 10,000円

お申し込みは

お近くの大阪福祉事業財団 各施設へ

ご寄贈・ご寄付ありがとうございました

(2023年 4月~6月) (敬称略・順不同)

豊里学園

【寄贈】 大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会
 天然温泉なにわの湯 日本出版販売(株)関西支社
 大阪府社協(万代基金)
 近畿アイスクリーム協会 理事長・栗原輝之
 独立行政法人 造幣局 社福)産経新聞厚生文化事業団
 竹内市郎 井原直美 村田晴美 榎木富大

すみれ乳児院

【寄贈】 匿名 Osaka Book One Project P&Gジャパン
 大阪玩具・人形問屋協同組合連合会
 小島崇嗣 門司一徹 中尾健一

【寄付金】株式会社グルーヴ

あさひ希望の里

【寄付金】家族会

季節

日差しはもう夏ですね。夏と言えば皆さんはどのような思い出がありますか。

私は両親の実家が高知というところもあり、毎年夏休みは高知に帰り、きれいな海に入っていました。新型コロナウイルスが流行してからは帰れていませんが、今年は5類感染症に移行したので帰りたいと思っています。

私の入職はコロナが流行してからなので、施設の利用者さんと遠出の外に出かけたことがありません。この夏はぜひ一緒に夏の思い出を作りたいです。



(あさひ希望の里 中平)

豊里学園

令和4年度NHK歳末たすけあい助成金（令和3年度NHK歳末たすけあいによる）
ご支援ありがとうございました

コロナウイルスによる制限の緩和を受け、3年前と近い形で入学式を迎えることができました。共同募金助成金(施設事業費)で、入学児童の制服を購入させて頂きました。

当日はあいにくの雨でしたが、子どもたちは新しい制服に袖を通し、意気揚々と入学式に出発しました。入学式では、緊張した趣の子どもたちでしたが、帰園すると緊張もほぐれたようで、学校の様子を話してくれました。子どもたちの話しをする表情から、新たな環境が楽しみな様子が伝わってきました。職員も頼もしい子どもたちの姿に、成長を感じ大変うれしく思います。

職員一同、ご支援に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

社会福祉法人 大阪福祉事業財団 理事長 茨木 範宏



(令和4年度 配分金)

- ①助成金 : 75,000 円
- ②自己資金 : 241,440 円
- ③事業費総額 : 316,440 円

すみれ乳児院

地域のこどもの福祉のための助成
ありがとうございました

大阪府共同募金会様より下記の事業
について助成を頂きました。

入所児童の環境改善・処遇改善及び
設備改善や、子どもへの支援向上に向
けた研修費等に有効に使わせていた
できました。ありがとうございます。

(内容)

- ・子どもの居室等のエアコンの
分解・洗浄
- ・キッズコテージ(大型遊具)
- ・ホームページのシステム追加
- ・「安心感の輪 子育てプログ
ラム」研修費
- ・CRCコンサルティング

助成金額 : 2,000,000 円
自己資金 : 102,000 円
事業費総額 : 2,102,000 円

事業終了日 令和5年1月末



社会福祉法人
大阪福祉事業財団
理事長 茨木 範宏



立ち寄りください。(中原)

母と子の教室は、旧すみ
れ乳児院のころから続いて
いる地域の親子がひとり
ぼっちの子育てにならない
ようにと開催してきた取り
組みです。今年も新たに、
誰でも気軽に遊びに来ても
らえるようにガレージを使
うこと、サブタイトルを
「ぎゅっとここにこらん
ど」とすることを決めまし
た。

初回は、近所の方が来て
くださいました。離乳食の
ことを話したり、他の子ど
もたちの様子を見て、「来
月にはこんな姿かな」とわ
が子に重ねておられました。
子ども達のにぎやかな声に
様々な年代の方が足を止め、
子ども達が遊ぶ様子を見
守ってくださいました。
毎月第2金曜日 10時から
11時。すみれ乳児院にて。
事前申込み不要。気軽に
立ち寄りください。(中原)



すどう しおり
須藤 汐里
(管理栄養士)

旭ブロック
新任職員紹介
豊里学園

すみれ乳児院
「ぎゅっと
らんど」を
開催しました



すみれ乳児院

これからよろしくね

4月になり、グル
ープに新しい子ども
たちや職員を迎えま
した。「今日一緒に
遊ぶ職員は誰かな？」
と新たな環境にドキ
ドキしている子や、
緊張しているお友だ
ちに「よしよし」と
頭を撫でてあげる子
どもたちが少しで
も良いイメージでス
タート出来るように
とウェルカムパーテ
イを行いました。
子どもたちは『O
グループへようこ
そ!』と書かれた大
きなブランコに乗っ
ている自分たちの写
真の壁面をみて「ブ
ランコ乗っている」
「OOちゃんいるね



職員力作の壁面装飾



フルーツバイキング

(北川)



会場へ向かう足取りは軽やか

「このお笑い芸人
知ってる」と嬉しそ
うな表情をしていま
した。また、チャダ
ンスも気になってお
り、お笑いもチャダ
ンスも「テレビでし
か見た事ない」と少
し緊張した面持ちで
した。
開演すると、初め
て見るチャダンスに
音楽が好きなお子ど
もたちがリズムに合
わせて踊り、笑顔が弾
けていました。お笑
いライブも「初めて
舞台で見た!」と笑
顔で楽しんでいまし
た。帰宅途中も子ど
もたちと舞台の話し
で盛り上がり、「ま
た行きたい」と満面
の笑み。貴重な体験
に有意義な一日とな
りました。

(前川)

お笑いなにわ祭 With チャダンス



チャダンスと一緒にダンシング

豊里学園

あさひ希望の里

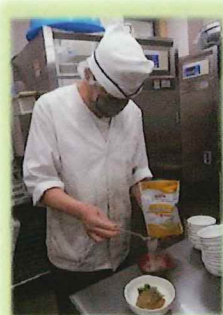
「高齢期」をテーマに
「より良い食事」を考える

少子高齢化が叫ば
れて久しい今日、そ
の波はあさひ希望の
里にも押し寄せてい
ます。
障害を持つ方は
元々食べる力が弱い
傾向がある上に、在
籍20年以上経過した
利用者も多い当施設
では、加齢による
「噛む力」「飲み込
む力」の低下への対
応が課題となってい
ます。



高齢期食の一例

そこで給食では安
心して食べられるよ
うに、一口大、刻み
食、トロミ剤を使っ
た飲み込みやすい食
事のほか、蒲鉾やコ
ンニャクなど、のど
詰めによる窒息のリ
スクの高い食材の切
り方の工夫をしてい
ます。また施設内に
留まらず他施設に実
習に行くなど、高齢
期に見合う安全でお
いしい食事づくりを
日々追求しています。
(木村)



とろみ食づくり